

委員 井上隆司、尾野恭一、○久保義弘、鍋倉淳一、矢田俊彦、柚崎通介、

報告事項

今期、下記の活動を行った。

1. ICPS2012(国際生理学カンファレンス(中国、蘇州、2012/11/1-4))に関連して

(1) 中国生理学会 (CAPS) より、PSJ からのシンポジウム提案を求められ、以下の二つを提案し、採択された。

Frontiers in pain physiology - from receptors to higher functions

チェア: 鍋倉淳一(生理研)、加藤総夫(慈恵医大)

講演者: 鍋倉淳一、加藤総夫、富永真琴(生理研)、Yu-Qiu ZHANG (Fudan Univ)、
Xu ZHANG(Shanghai Inst Biol Sci)

Functional analysis of cortical microcircuit

チェア: 窪田芳之(生理研)、Yousheng SHU (Inst Neurosci, Acad Sci China)

講演者: 窪田芳之、W-J SONG(熊本大)、Yousheng SHU、磯村宜和(玉川大)、
竹本さやか(東大)

(2) ICPS2012 への参加を呼びかけるメールを PSJ 会員宛あてに送信した。

(3) ICPS2012 に、久保も出席し、栗原会長の代理として、開会式で他国の代表と共に remarks を述べた。また、シンポジウム中で、FAOPS2019 大会長の鍋倉が、協力と参加を依頼する宣伝活動を行った。

2. 第90回日本生理学会大会(石川義弘大会長)に関連して

(1) KOJACH シンポジウムの企画を行い、以下のように決定した。

KOJACH symposium (towards FAOPS 2019 仮称)

Multidisciplinary approaches to physiological and pathological conditions at synapses

チェア: 柚崎通介(慶応大)

講演者: Zhen-Ge LUO (Inst Neurosci, Shanghai, 中国)、
Seog Bae OH (Seoul Natl Univ, 韓国)、田渕克彦(信州大)、松田信爾(慶応大)

(2) 中国生理学会 (CAPS) より、旅費中国側負担で CAPS 企画のシンポジウムを実施したいという申し出があった。KOJACH シンポジウムと分野は重なるが内容が異なるため、また、中国からの申し

出を尊重するために、石川大会長とも相談の上、大会参加費は免除という条件で採択した。

CAPS-PSJ symposium (towards FAOPS 2019 仮称)

Synapses and Circuits: From Formation to Disorder

チェア: Ying-Shing CHAN (Univ Hong Kong, CAPS 副会長、中国)、
加藤総夫(慈恵医大)

講演者: Yun WANG (Peking Univ)、Ying-Shing CHAN、Lan MA (Fudan Univ)、
Jia-Wei ZHOU (Inst Neurosci, Acad Sci China)、橋本浩一(広島大)

(3) スカンジナビア生理学会より、石川大会長あてに、合同シンポジウムを実施したいという依頼が届き、日本側講演者等を下記のように決定した。

Cardiac function, ion channel, arrhythmia (全くの仮題)

チェア: 尾野恭一(秋田大)、スカンジナビア側から1名

講演者: 尾野恭一、黒川洵子(東京医歯大)、スカンジナビア側から2名

3. IUPS2013 (Birmingham, UK, 2013/7/21-26) に関連して

(1) 昨年度 PSJ を通して提案したシンポジウムのうち、以下の2件が採択された。

Shedding light in the neurophysiological black box

チェア: 八尾寛(東北大)、Dirk TRAUNER (Germany)

講演者: 八尾寛、Alipasha VAZIRI (Austria)、Lynn T LANDMESSER (USA)、
山中章弘(名大)、Dirk TRAUNER

Potassium channel complexes: dynamic aspects of the assembly and regulation towards their physiological roles

チェア: 久保義弘(生理研)、Bernard ATTALI (Israel)

講演者: Jeanne M NERBONNE (USA)、中條浩一(生理研)、Bernard ATTALI、
Alison THOMAS (UK)、Thomas JENTSCH (Germany)

PSJ に対する提案依頼時には3件採択予定であったため、IUPS2013事務局に、採択が2件となっている理由を問い合わせたところ、「枠数と応募数の関係で全体に圧縮した。やむを得ない措置であるため、申し訳無いがご理解をいただきたい。」という旨の回答を得、栗原会長とも相談の上、承諾した。

(2) 参加を呼びかけるメールを PSJ 会員宛に送信し、また、日生誌 74 巻 5 号の誌上にて、呼びかけを行った。

常任幹事会への提案(議事として諮りたいことをお書き下さい)

無し。